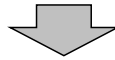


令和5年度 糸生小学校スクールプラン

教育目標 豊かな心を育み、たくましく、ともに学び高め合う子の育成



【児童の実態】

- 素直で優しく、人に思いやりを持って接することができる。
- やるべきことに黙々と取り組むことができる。
- △自分に自信が持てず、消極的になることがある。

【越前町学校教育目標】

全ての子どもたちの可能性を引き出す
個別最適な学びと協働的な学びの実現

【越前町学校教育方針】

個性と協働が共存する学校教育
～個性を発揮し多様な人々と協働しながら課題に取り組む～

【研究主題】

ICT教育×個別最適な学び×協働的な学び

【保護者・地域の願い】

- ・豊かな心を持ち自立した子
- ・明るく健康で心身ともにたくましい子
- ・学ぶ喜びを感じ、自分の考えを表現できる子
- ・地域の良さを知り、ふるさとを誇りに思う子

今年度の目指す児童像 (合言葉は Let's Challenge)

| | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| <u>目標を持ち、粘り強く考え</u> <u>学び合える子</u> | <u>互いに認め合い</u> <u>協働できる子</u> | <u>心身ともに健康で</u> <u>たくましい子</u> |
|--------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|

| | 確かな学力 | 豊かな心と社会性 | 健康な心と体 |
|-----------|--|---|--|
| 重点目標と数値目標 | 粘り強く考える子の育成 ○「問題を解決するために、様々な方法であきらめずに考えることができた。」と答える児童が85%以上を目指す。 協働的な学びがある授業づくり ○「自分の考えを伝えたり、他の子の意見を聞いたりして、お互いに学び合うことができた。」と答える児童が85%以上を目指す。 | 認め合う仲間づくり ○「学校は楽しい。」と答える児童が85%以上を目指す。 様々な人と協働できる子の育成 ○「みんなで何かをするのは楽しい。」と答える児童が90%以上を目指す。 | 心・技・体の向上 ○「体力がついた。技が向上した。」と答える児童が90%以上を目指す。 健康の保持増進 ○「自分に合っためあてを考え、めあてを意識しながら健康に生活することができた。」と答える児童が85%以上を目指す。 |
| 具体的取組 | ・児童に学習内容の見通しをもたせ、児童主体で進める場面をつくる。 ・個別最適な学び・協働的な学びの実践に向けた情報交換を毎週行う。(年間20回以上) ・ICT教育の実践に向けた情報交換を毎週行い、授業に活かす。(年間20回以上) ・お互いに学び合うために、ICT機器を活用することができるようにする。 | ・SSTやレジリエンス等のポジティブ教育を取り入れる。 ・月目標に対するめあてや学級の実態に合わせためあてを設定し、振り返る場を設ける。 ・行事をいかしてピアサポート活動を行う。 ・地域の方々とふれあうことのできる活動を取り入れる。 | ・体育授業や体育的活動で、自分に合っためあてを設定し、振り返る場を設ける。 ・全校共通の準備運動に取り組み、継続的に補強運動を行うことで、体力の向上、技能の習得を図る。 ・「健康カレンダー」に取り組み、学年に応じためあてを立て、健康の保持増進への意識をもたせる |

◎<学校業務改善>

- 【「通ってよかった 通わせてよかった あってよかった 勤めてよかった」と感じる教育環境をつくる。】
- ・家庭・地域との連携を深め、理解し合える情報収集と発信(『糸生つ子だより』を80号以上発行)を行う。
 - ・児童理解は、児童と向き合う時間の確保につながる。そのために児童情報交換会を毎週行う。(年間35回以上)